

令和6年度の学校評価

<p>本年度の重点目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度からの新教育課程に基づき、第1・2学年では昨年度の経験を活かし、第3学年では担当教員間の共通認識のもとで、指導と評価の一体化に新たに取り組む。 ・総合的な探究の時間の「活力」の在り方を見直すため、1学期から検討を開始する。 ・学校行事を生徒の主体性やリーダー育成の機会と捉え、活性化した現状を維持する。 ・特別支援教育委員会を時間割内に位置付け、支援が必要な生徒の情報を共有することにより、必要に応じて組織的な対応を実施する。 ・業務内容の点検・精選等によって働き方改革を進め、教職員の健康維持を図る。そのために教職員からの意見を広く求め、具体的な提案を行う。 ・スクールカウンセラー・ソーシャルワーカー、部活動総合指導員・専門指導員と連携してチーム一宮興道の視点で教育活動にあたり、同窓会事業及びPTA活動を充実させ、学校評議員会を開催して地域に開かれた学校作りを行う。 		
<p>項目(担当)</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>留意事項</p>
<p>防災とPTA活動(総務部)</p>	<p>保護者と学校との連携強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の活性化とその活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ミマモルメ」、ホームページ、「興道だより」等を利用して積極的に情報発信を行い、PTA活動の理解と協力を求める。
	<p>防災教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施と防災マニュアルの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を実施し、非常事態時の対応を学ばせる。 ・幅広い観点で防災に関する情報を収集し、より実効性の高いマニュアル作りを目指す。
<p>学習指導(教務部)</p>	<p>主体的・対話的で深い学びをもたらす授業展開、学びに向かう力を養う学習指導方法の研究実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業の参観 ・ICTの活用 ・校内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が意欲的に学習に取り組めるような授業の実践を目指す。 ・新学習指導要領に沿って研究実践を重ね、生徒の主体性を引き出す探究活動の実施方法について議論する。 ・観点別評価により、生徒の自らの学習調整能力を育成する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・学習アンケートの実施 ・生徒面談、学習記録等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実情を的確に把握し、集団の特徴に合わせた生活指導を検討する。 ・学習管理アプリ等を活用し、主体的な授業参加につながるような学習習慣を身に付けさせる。
<p>生活指導(生徒指導部)</p>	<p>安全教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校外交通安全指導の実施 ・交通安全教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に全職員による街頭指導を実施(登校時年2回、下校時年5回)する。 ・登校時の門に職員輪番にて交通指導を実施する。 ・交通安全教室を開催し、交通安全に対する意識を高める。
	<p>基本的生活習慣の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻カードの活用と日常の声かけにより、時間を守る意識を高める。
	<p>いじめ防止対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの早期発見に関わる取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートを年3回実施し、いじめの早期発見を図るとともに、その後の適切な対応につなげる。
<p>進路指導(進路指導部)</p>	<p>生徒の適性、能力、志望に応じた進路指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な進路情報の提供と進路意識の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路講演会や進路講話を実施し、生徒や保護者に対して適切な進路情報を提供する。 ・大学の講義を体験させることやオープンキャンパスに参加させることを通して、進路に対する意識を啓発する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試に向けての指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路検討会を実施し、各大学の情報を共有しながら、生徒の特性や希望に応じた指導につなげる。 ・補習や特別講義、個別指導などを通して、各生徒の進路希望の実現に向けての指導を充実させる。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
保健・環境美化 (保健部)	心身の健康の保持増進	<ul style="list-style-type: none"> 委員会活動等により、心身の健康に関する啓発活動を推し進める。 特別支援教育に対する理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒保健委員会、学校保健委員会等の委員会活動を通して、心と身体の健康に対する知識や関心を高め、日頃の生活や自己の健康管理に役立ててもらおう。 特別な支援が必要な生徒を教員全体に周知し、個々の対応の仕方を共有できるようにする。
	校内環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 校内美化に対する意識を高める。 環境美化に関する委員会活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃方法の周知や清掃道具の充実を図り、積極的に清掃に取り組めるようにする。 美化委員による清掃点検や草花の管理など、さまざまな活動の活性化を図る。
研修活動 (図書部)	現職研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 校内での講演のテーマを精選する。 	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ多くの教員に関係のある内容を講演の主題としてもらう。 今後聞きたい内容についてアンケートを取る。
生徒会活動 (特活部)	部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒がはつらつと日々の活動に参加できるよう支援し、公式戦・コンクール等の結果にも繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 短時間で効率よく、自発的な活動ができるように支援する。健康・安全面にも十分に留意させる。 学習と部活動の両立を図り、部活動に取り組む意義を理解させる。
生徒会活動 (特活部) 情報活動 (特活部)	開かれた学校教育と情報モラルの向上	<ul style="list-style-type: none"> タブレットの使用に慣れる 生徒の情報モラルを高める。 学校 Web ページで情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を道具として使えるような機会を多く設定する。また、個人情報の取り扱いや著作権・肖像権などの情報モラルに配慮させる。 地域に開かれた情報発信が出来るように、Web サイトの随時更新や見やすさを常に心がける。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
第1学年 「高校生としての基本的な生活習慣と学習習慣の確立」	真剣に学習する姿勢と部活動や学校行事に積極的に取り組む姿勢の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を大切に、予習、復習の学習サイクル構築を呼びかける。 ・校内での学習を推奨し、自習力を身に付けさせる。 ・部活動、学校行事に前向きに取り組むよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対して真剣に取り組むことを徹底させ、その学習が最大限活きるよう、家庭学習を遂行させる。 ・校内で自学自習に取り組める環境を提供し、自ら課題を設定して自習する力を育成する。 ・部活動、学校行事に全力で取り組むことで何事にも前向きに取り組む活力を醸成する。
	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行、時間やルールを遵守することを指導する。 ・学校生活をより充実させるために規則正しい生活習慣を確立させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活における基本を徹底させ、社会人としての基盤となる人間力を育成する。 ・生活習慣や家庭での生活の把握と共有に努め、学校における教育効果の最大化を目指す。
第2学年 「社会人基礎力の基礎を醸成」	真剣に学習する姿勢と部活動や学校行事に取り組む姿勢の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習を大切に、予習、授業、復習の学習サイクル構築を呼びかける。 ・部活動、学校行事に積極的に参加するよう指導する。 ・現在よりも成長し、新たなことに挑戦できるように集会などを通して呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の記録をつけることで、自身の学習習慣を見つめ、改善できるよう指導する。 ・部活動、学校行事を通して、人間的な成長を促し、努力した経験を多く積めるよう指導する。 ・集会での講話や授業を通して、自身の知的好奇心を探究するような声掛け、指導をする。
	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や部活動などに集中して取り組むための生活習慣が確立するよう指導する。 ・挨拶の励行、時間や締め切り、ルールを守ることを集会や教科指導を通じて指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興道生になるために、自覚ある言動や行動ができるよう、生徒と日ごろからコミュニケーションを取り、学年団で密に情報共有しながら指導する。 ・家庭学習記録の睡眠状況などを把握し、興道生としての学校生活に耐え得る生活習慣を意識できるように指導する。
第3学年 「人間力が土台にある進路実現」	生活習慣、学習習慣、倫理観の育成、向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動、部活動、学校行事等を通して、主体性、向上心、自制心を持って行動できる人材の育成を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動、部活動、学校行事等に熱量を持って取り組むことができる生徒の育成を目指す。 ・活動の中で経験する成功、失敗体験が、この先の人生において「生きる力」として繋がるように支援する。
	進路実現に向けて苦勞を厭わない姿勢の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定と学習のために適切な助言を行う。 ・前向きに学習に取り組む姿勢を育み、困難に対しても強い意志を持って乗り越えられるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の可能性を広げられる目標を設定し、段階を経て学習に前向きに取り組むことができるように助言をする。 ・進路目標実現のため、強い意志を持って困難を乗り越えられるように、面談や声掛けによって支援を継続する。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・新教育課程に基づいた、指導と評価の一体化を進めることができたか。 ・総合的な探究の時間の「活力」の見直し・検討を進め、令和7年度の実現に向けた具体的な方針を示すことができたか。 ・学校行事を生徒の主体性やリーダー育成の機会と捉え、活性化した現状を維持することができたか。 ・支援が必要な生徒に対して、必要に応じた組織的な対応ができたか。 ・働き方改革を進め、職員の健康維持を図ることができたか。 ・学校外の専門家とも連携して教育活動にあたり、同窓会事業及びPTA活動の充実、学校評議員会の開催などを通して、地域に開かれた学校作りを行うことができたか。 	